

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9

TEL: 03-3259-3111(代表)

www.ms-ins.com

2021年11月1日

～EVの普及を支援し持続可能な社会の実現に貢献～

共同利用型充電サービスの社会実装に向けた実証事業に参画

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、2021年11月～2022年1月に静岡県沼津市で東京電力ホールディングス株式会社が実施する「共同利用型充電サービスの社会実装に向けた実証事業」に参画します。

本実証事業ではEVの普及を目的に、「複数企業で1台の充電器を共同利用する」というEV充電の新たな選択肢について、運用上の課題と解決の方向性を検証します。

当社は、本実証事業に参画することで、EVの普及を支援するとともに「当社が所有する全車両の将来的な電動車^{*}化」や「EVおよびEV充電設備の普及を支援する商品・サービスの開発」に活かしていきます。

※電動車とは、電気自動車、プラグインハイブリッド車、ハイブリッド車、燃料電池車のことを指します。

1. EV充電の課題

企業のEV充電には「事業所内に自社専用の充電設備を設置（自社充電）」する方法と「既存の公共充電設備を活用（公共充電）」する方法がありますが、それぞれ以下の課題があります。

自社充電	・設置工事や電気代等の費用負担が大きくなります
公共充電	・充電待ち渋滞等、業務に支障をきたすことがあります

2. 本実証事業の概要

- ・12企業・1団体が、1台の充電器をあらかじめ決められた充電スケジュールをもとに共同利用します。一方、充電スケジュールで指定された時間以外でも、空いている時間は、アプリで予約すれば充電が可能です。
- ・時間帯別料金（ダイナミックプライシング）を導入し、その実効性・経済性の検証を行います。
- ・当社は、本実証事業のため、静岡支店 静岡東部支社の業務車両の一部をEVに置き換えます。



<ご参考：東京電力ホールディングス株式会社 2021年11月1日付プレスリリース>

- ・電気自動車をお使いになる法人のお客さま向け「グリーン・チャージ・シェアリング（仮称）」の試験的サービス提供を開始

https://www.tepco.co.jp/press/release/2021/1653275_8711.html

3. 当社参画の主な目的

- (1) EVの普及を支援し、持続可能な社会の実現に貢献
- (2) 当社が所有する全車両の将来的な電動車化に向けての情報収集
- (3) EVおよびEV充電設備の普及を後押しする商品・サービス開発の検討
- (4) EV事業に関する新たな知見とノウハウの獲得

以上